1. 研究名、チーム名・メンバー紹介

↓

1. どのような研究を行ったかの軽い説明

↓

③どのようなwebサイトを知っているか問いかけ

（yahooなどのサイトがあると軽く話す）

↓

④なぜこの研究を行うと決めたかの説明

（webデザインへの興味、調査しやすいと感じたなど伝える）

↓

⑤自分たちの作成したサイトを見せる

（映画サイトをモデルにしたなど）

↓

⑥作成したサイトの説明

↓

⑦調査した内容の説明

（論文など）

↓

⑧上記に対するチームの製作背景

（アンケートを行ったことなどの説明）

↓

⑦⑧を繰り返す

↓

まとめ

Jチームのwebサイトのデザイン研究についての発表を始めます。

メンバーは（全メンバーの名前）の6人です。

目次はこちらです。

この研究の内容としては、webサイトの背景の色や画像の配置場所、文章や題名のフォントなどのデザインにかかわるものの調査やアンケートを行い、その調査から私たちの考えるより良いデザインのwebサイトを作成するというところに最終目標を置きました。

この研究テーマに決めた理由ですが、インターネットには数多くのサイトが存在していて、

通販サイトや情報サイト、個人サイトなどいろいろな種類があります。

ほとんどのサイトは多くのユーザに利用してもらうために、運営方針や、webデザイン

に工夫を凝らしていると思います。

私たちも過去に同じメンバーでサイトを作成したことがあるのですが、サイトを作ることに集中していて、サイト自体が見づらくなってしまった経験がありました。ほかにも、純粋にwebデザインに興味もあり、あの時の反省点や純粋な興味からこのテーマに決めたというのが大きな理由です。

その時に見づらくなってしまったのはサイトのデザインが悪かったからではないかという意見がでました。デザインに工夫を凝らせばサイトが見やすくなると考えました。このようなことから、過去の反省を生かし「見やすい＝デザインとして良い」webサイトを作成したいという点からこの研究を行いました。

そもそも、皆さんはどのようなサイトが存在するかご存じでしょうか？

例えば、yahooであればニュースが見ることや、路線情報なんかが確認できますよね。

Amazonであれば欲しい商品の購入であったり、映画を見ることもできます。

あとはJRAのサイト。お世話になっている人も多いのではないでしょうか。私は毎週お世話になっているのでブックマークに追加しています。

そんな数多くあるサイトの中から、映画情報サイトをモデルに調査・サイト作成を使用と考えました。理由としては、既存サイトを見てもシンプルなものが多く、デザインの良し悪しが顕著に出るのではないかと考えたからです。また画像とテキストの比率が調査を行うにあたってよかったことなどもあります。あとは単純に作りやすそうという製作サイドの意見もあったりします。

ではここで先に私たちの作成したサイトを見せたいと思います。

TOP画面には・・・・

ニュース画面では・・・・

レビュー画面や過去作品画面もあり・・・

このようなものになっています。

なぜ、このようなデザインになったのかという理由を論文や私たちが行ったアンケートなどを用いて説明していきたいと思います。

まずは、背景色についてです。

論文によると、白色背景に黒文字のようなコントラストが強いものになると「見やすい」「澄んでいる」という意見が多くなり文字を読むうえでは心理的な快適を示すそうです。

しかしながら、輝度が高くなると「眩しい」「目が疲れる」という不快感も示すようになります。

逆に、背景が水色で文字が黒色といった場合は、コントラストが弱くなるため、見やすいといった項目がなくなるものの、文字を読むという作業を行う場合に「目が疲れる」といった不快感が低下する結果が出ていました。

私たちも調査した論文の内容をもとに、画像が多めのページと文章が多めのページの２種類。背景が白、文字を黒のコントラストが強いものと、背景を水色、文字を黒にしたものの2種類の合計４種類用意し、アンケートを行いました。

結果をいうと画像が多い画面では白背景の方が見やすいという結果で文字の多い画面では僅差ながら背景色のある画面の方が見やすいという結果になりました。

意見もいただいたのですが、画像の多い画面と文字の多い画面でともに似たような意見が多くありました。

白背景がよかったという意見には、白背景で黒文字が見やすい。文字があると背景が明るい方が見やすかった。白基調の方が色覚情報に割く必要がないため見やすい。などの意見があり、全体的に白背景は文字が見やすいという意見が多くありました。

逆に背景色ありがよかったという意見には、白背景に黒文字だと目が疲れる。白背景だと目がチカチカする。淡い色が入っていて見やすいといった、白背景と比べて目が疲れないからという意見が多かったように思います。

この結果から画像の多い画面では背景を白、文字の多い画面では背景を水色にしました。

画像を見るときの背景色に関する論文は見つけることはできなかったのですが、複数の色を使っている（目につきやすい）映画ポスターを利用した画面だったため、コントラストが強くはっきり見える白背景の方がポスターを見やすかったため画像多めの画面では白背景が多かったのかなと考えます。

また、文字の多い画面では多少ながらも票の多かったうすい水色を背景色に利用しました。アンケート結果からだと文字の多い画面でも白背景を利用した方がいいのではないかと思われるかもしれませんが、これにもしっかり理由があり、その理由は後程説明します。

次にフォントについてです。

フォントにも様々なフォントがあり、有名なところでいえばゴシック体や、明朝体。この資料にも使っているメイリオ、フリーフォントで見つけたレトロ感のあるロゴなど多くのフォントが存在しています。

そんなフォントの可読性についての論文は数多くあり、いくつかの論文を見るとゴシック体は明朝体、メイリオ体に比べて細字・太字かかわらず視認しやすいことが説明されているものが多くありました。

しかし、市販されているデザインの参考書などを確認すると文章など長文になるものは明朝体の方が読みやすいと記載されています。このスライドだと長文を映すのに限界があるためあまり変わらないか、どちらも見づらい感じになっていますが、過去に作成したレポートだと確かに明朝体の方が見やすいと感じました。

そこで私たちは映画の題名を太字のゴシック体、あらすじなどの長めの文章を明朝体として作成していたのですが、アンケートを行ったときにこのような意見がありました。

文字の色が薄い。フォントが見づらい。という意見がいくつかありました。

なぜ、見づらい、薄いという意見が出たのかを改めて調査を行うとこのようなことがわかりました。

ゴシック体は文字の装飾が少なく太さが均一であるのに対して、明朝体は起筆部や終筆部のウロコと呼ばれるものなどの装飾があり太さが均一でないとのことです。

そのため、明朝体特有の文字の細さなどがあり、薄く見えづらいという評価になったのではないかとう結論になりました。

この結果から題名の太字のゴシック体は変えずに、文章部分のフォントを明朝体からゴシック体に変更を行いました。これにより前述した背景色があった場合でも文字の視認性が高く、目に負担の少ないデザインのページになりました。

おはようございます。

今日はよい天気です。

早起きしたので家事を終わらせます。

疲れたので二度寝をしたら

夕方になっていました。

明日は月曜日、憂鬱だ

俺は社会人

おはようございます。

今日はよい天気です。

早起きしたので家事を終わらせます。

疲れたので二度寝をしたら

夕方になっていました。

明日は月曜日、憂鬱だ

俺は社会人